

平成30年8月14日

西三河南部西地域医療連携推進ネットワーク

代表幹事 安城更生病院 院長 浦田 士郎

西三河南部西構想圏域の地域医療構想推進に向けた意見集約結果について

西三河南部西構想圏域では、自主的協議の場である「西三河南部西地域医療連携推進ネットワーク」において、地域医療構想推進に向けた意見集約を行いました。

つきましては、意見集約の結果を、下記の通りご報告いたします。

<意見集約方法と概要>

- ・西三河南部西地域医療連携推進ネットワーク（幹事：安城更生病院、刈谷豊田総合病院、西尾市民病院、碧南市民病院、八千代病院、小林記念病院、刈谷病院）より、西三河南部西構想圏域内の病床を有する病院及び有床診療所46施設に対し、下記の設問を送信し、その結果を集約。
- ・意見集約実施期間 2018年4月21日～5月21日
6月25日開催の第7回 西三河南部西地域医療連携推進ネットワーク総会にて内容について協議
- ・回答総数 10施設／46施設（1施設に複数回答有。送信施設は下記参照）
- ・設問 設問1：地域医療構想を踏まえた各病院の役割表明内容に対して
設問2：既存病床の有効活用について
設問3：連携推進の方策について
設問4：その他 地域医療構想に関わるご意見

次頁より、意見内容を掲載

設問 1：地域医療構想を踏まえた各病院の役割表明内容に対して

(各病院の表明内容については別添の地域医療構想推進委員会資料をご参照ください)

新公立病院改革プラン策定対象病院：碧南市民病院・西尾市民病院

公的医療機関等 2025 プラン策定対象病院：安城更生病院・刈谷豊田総合病院

救急医療等を担う中心的医療機関：八千代病院・西尾病院

<救急医療について>

- ・救急車搬送数が年々上昇しているこの地域において、救急病床が今後さらに不足することが懸念される。大規模病院のなかでも、得意分野の区別や連携体制を構築することで、効率的な医療を促進させることができないか
- ・脳卒中などの救急医療は、近年医療のスピードが求められている。そのような患者は遠くの大病院に集約するのではなく、直近の病院に搬送し、可能な限り早期の診断所領を施すことが肝要である。そのうえで、より高度な医療が必要と判断すれば、大病院に転送するのが最良だろう。

<各病院の役割について>

- ・各病院がそれぞれの地域で医療を支えつつ、経営を維持するには担うべき役割としてはその通りだと思ふ。しかし、西三河南部西の構想区域を大きく捉えた場合、高度急性期・急性期・回復期・慢性期の機能をどこの病院が担うべきかということを決めないといけない。一方、医師をはじめとする人員の確保や診療報酬が抑制される中で経営を成り立たせる共通の課題に対して、当構想区域全体でどう取り組んでいくか、全体最適の観点からの調整が必要だ。

<自院の状況について>

- ・急性期から回復期、療養まで行うケアミックス病院として地域医療を担っている。
1. 高度急性期医療および急性期医療

二次救急病院として救急患者の受入れの充実を図ると同時に、がん、急性心筋梗塞糖尿病などの急性期医療の充実を図る。また、当院の特徴として、不妊、脊椎・脊髄疾患、スポーツ整形、小児アレルギーなどの治療を行う。

2. 回復期医療

回復期リハビリ病棟で集中的にリハビリを行い、社会復帰や在宅復帰を目指す。地域包括ケア病棟では、在宅復帰と在宅患者の急変時の受入れを行う。

3. 療養医療

終末期患者や医療依存のある療養期の患者の受入れを行い、看取りや在宅復帰に向けた支援を行う。

- ・ 特にありませんが、当院は有床診療所として後方支援に努めます。
- ・ 在宅患者急変時の受入れ促進。在宅復帰に向けたリハビリ等の支援
早期在宅復帰のための退院後管理継続。脳卒中等患者の回復期リハビリテーション機能の充実

設問2：既存病床の有効活用について

<制度の確認>

- ・ 非稼働病床の定義は何か？病床稼働率上では100%はありえなく、一定の割合が非稼働となるが、それも含んでいるのか？（非稼働病床の定義を再確認）

<対応・要望>

- ・ 一部の時期を除き、当院はほぼ満床。急性期後の患者の転院先（回復期病床が）少ないのが問題。当院のような病院（総合入院体制加算取得病院）でも地域包括ケア病棟が持てる制度にして欲しい。
- ・ 地域で急性期の患者を受け入れる病床数を増やして欲しい。
- ・ この地域は病床過剰地域でありながら回復期病床は不足している。使っていない

い病床を不足している病院に移すなど、病床融通はできないのか？

- ・患者減少による場合なら、同じ医療圏内で不足医療機関のある場合には病床を移す。

患者ニーズがあるが医師・看護師不足で非稼働病床となっている場合には、適切な医師・看護師の供給体制を構築する。

<自院の状況について>

- ・当院の建物は耐用年数があと 10 年となっており、建て替えの議論が必要な時期にある。その際、病床数や機能など医療圏の中で改めて検討する必要があると考えている。当面は、地域包括ケアシステムの中核として、高度急性期を脱した患者の受け入れなども重要視する。従って、近隣の 3 次救急病院や地元医師会との緊密な連携を図り、地域住民が滞りなく医療が受けられる体制構築に努めたい。
- ・現在の機能を維持する。
- ・一般床は、より専門性を強化した脳卒中を中心とした急性期脳神経外科治療に集約予定。今後、血栓溶解療法や経皮的血栓回収療法などの超急性期脳梗塞に対する治療も積極的に行う予定。療養病床も、一部を回復期リハ病棟へ転換し、脳卒中の急性期からリハビリ、療養までを完遂できる医療施設を目指します。

設問 3：連携推進の方策について

<空床の把握と共有>

- ・機能別病床利用や転院支援の効率を上げるための、空床状況の連絡網を作ってはどうか。（地域連携部会で提案しました）
- ・医療だけでなく、介護との連携手段構築が必要（地域包括ケアシステムの実践）転院時の搬送を円滑にするため、ネットワークで救急車や搬送車を運用してはいかがか。

- ・ネットワークでホームページを作成し、病院マップ、各病院機能や特徴を紹介し、転院支援にタブレットなどで利用する。
- ・ネットワーク間でリアルタイムの転院要請や転院前の患者情報を共有できるクラウドサーバーを立ち上げ転院支援を迅速化、円滑化する。
- ・本ネットワークの中で地域等の割り振りも重要だが、受け入れ態勢、病床の空き状況、患者の容態等、緊密な連携を要するため、各病院の連携体制をウェブ上でネットワーク構築し共有する仕組みが必要。
- ・各医療機関との空床情報（受け入れ態勢）など情報共有体制の構築
地域構想での地域連携パスを維持しつつ、医療機関の階層ごとの情報提供を密に行っていく
- ・患者情報の共有（情報ネットワークのさらなる活用）

<協議体の体制整備>

- ・各病院のトップが集まり、大枠を決めて、その方針に従って担当ベースで進め方を作るしかないと思う。
- ・各市行政との連携なくして実現は難しいので、各自治体の政策とも合致する形での合意形成が必要
- ・各病院と、それぞれの特徴を踏まえた緩やかな医療連携

<人的交流や共同購買などの仕組み構築>

- ・共同購買など経営的メリットの模索
- ・職員教育や人事交流の模索

<自院の対応>

- ・療養病床及び今後予定している回復期リハ病棟の運用に関しては、安城更生、刈谷豊田総合、八千代との連携を引き続き推進する。

設問4：その他 地域医療構想に関わるご意見

<各種体制・制度について>

- ・色々な会議があつてわかりづらいため、わかりやすく説明してほしい
- ・病床数のみに着目するのではなく、医療構想区域における必要医師数の検討及びその確保も重要ではないか。
- ・この地域は、いつ大規模災害が起きてもおかしくないため、災害対策も推進する必要がある
- ・それぞれの医療機関にとってメリットのある構想が望ましい。
- ・そもそも病床機能報告の区割りには無理な点がある。それぞれ自負を持ってまじめに医療活動を行っている病院の邪魔になるようなことだけは避けてほしい。

<人的交流>

- ・圏域内の医療従事者に対する各職種別や多職種間での研修会・講演会などをネットワーク主催で設定する。
- ・他院の病院機能を知り、一定期間研修できる病院間の人事交流研修制度や医師派遣等を検討する「人事交流部会」を作ってはどうか。
- ・地域内で特に不足している科の医師赴任に対し、大学医局に対しネットワーク全体で要請する。あるいは寄付講座を設立し派遣医師を確保することはできないか。

<共同購買>

- ・小さな病院単位で納入価をこれ以上下げるのは困難。薬剤や医療材料の価格交

涉や斡旋をネットワーク参加施設で一括交渉できないか。

<組織力強化>

- ・圏域内住民に対する市民講座・健康促進事業をネットワーク主催で開催する。
また、それらをプレスリリースして、病院間の機能分担と連携をアピールする。
- ・これからさらに厳しくなるこの地域の情勢の中で、地域医療連携推進法人を設立することは考えられないか？
- ・ネットワークの主要事業として、大病院などが有するノウハウを活用したコンサル事業や、地域医療構想コーディネーターとしての旗振り役の任命と機能の構築

<自院の対応>

- ・急性期、回復期における地域の役割の充実を図りたいと思います。

<参考：設問送信施設一覧（施設種類及び病床数順）>

No	幹事	施設種類	施設名称	報告病床数
1	○	病院	安城更生病院	749
2	○	病院	刈谷豊田総合病院	710
3	○	病院	西尾市民病院	372
4	○	病院	八千代病院	420
5	○	病院	碧南市民病院	320
6	○	病院	小林記念病院	196
7	○	精神科	刈谷病院	207
8		病院	刈谷豊田総合病院東分院	230
9		病院	西尾病院	225
10		病院	高須病院	169
11		病院	刈谷記念病院	155
12		病院	秋田病院	150
13		病院	あいちリハビリテーション病院	145
14		病院	富士病院	130

15		病院	辻村外科病院	120
16		病院	刈谷豊田総合病院高浜分院	104
17		病院	新川中央病院	94
18		病院	刈谷整形外科病院	80
19		病院	山尾病院	60
20		病院	加藤病院	57
21		病院	堀尾安城病院	20
22		病院	一里山・今井病院	20
23		有床診療所	松井整形外科	19
24		有床診療所	ジュンレディースクリニック刈谷	19
25		有床診療所	岡村産科婦人科	19
26		有床診療所	知立クリニック	19
27		有床診療所	杉浦医院	19
28		有床診療所	大山クリニック	19
29		有床診療所	小野田整形外科クリニック	19
30		有床診療所	深見クリニック	19
31		有床診療所	ジュンレディースクリニック安城	19
32		有床診療所	山田産婦人科	19
33		有床診療所	小澤医院	17
34		有床診療所	稲垣外科	13
35		有床診療所	G&Oレディースクリニック	11
36		有床診療所	セントレディースクリニック	11
37		有床診療所	工藤眼科クリニック	10
38		有床診療所	三村医院	9
39		有床診療所	三河乳がんクリニック	9
40		有床診療所	堀眼科医院	9
41		有床診療所	高浜愛レディースクリニック	8
42		有床診療所	大竹耳鼻咽喉科	8
43		有床診療所	黒部眼科	6
44		有床診療所	とね耳鼻咽喉科クリニック	2

45		有床診療所	かみやクリニック	1
46		精神科	矢作川病院	186

以上